

人とロボットのソーシャルタッチインタラクション

人々と接するロボット技術

概要

本研究はこれまでの触れられるヒューマンロボットインタラクション(HRI)研究を、触れるHRI研究へと変える取り組みを進めています。ソーシャルタッチの認知メカニズム解明にむけた人間理解研究にも取り組んでおり、人とロボットの触れ合いを通じた共生社会の実現を目指します。

特徴

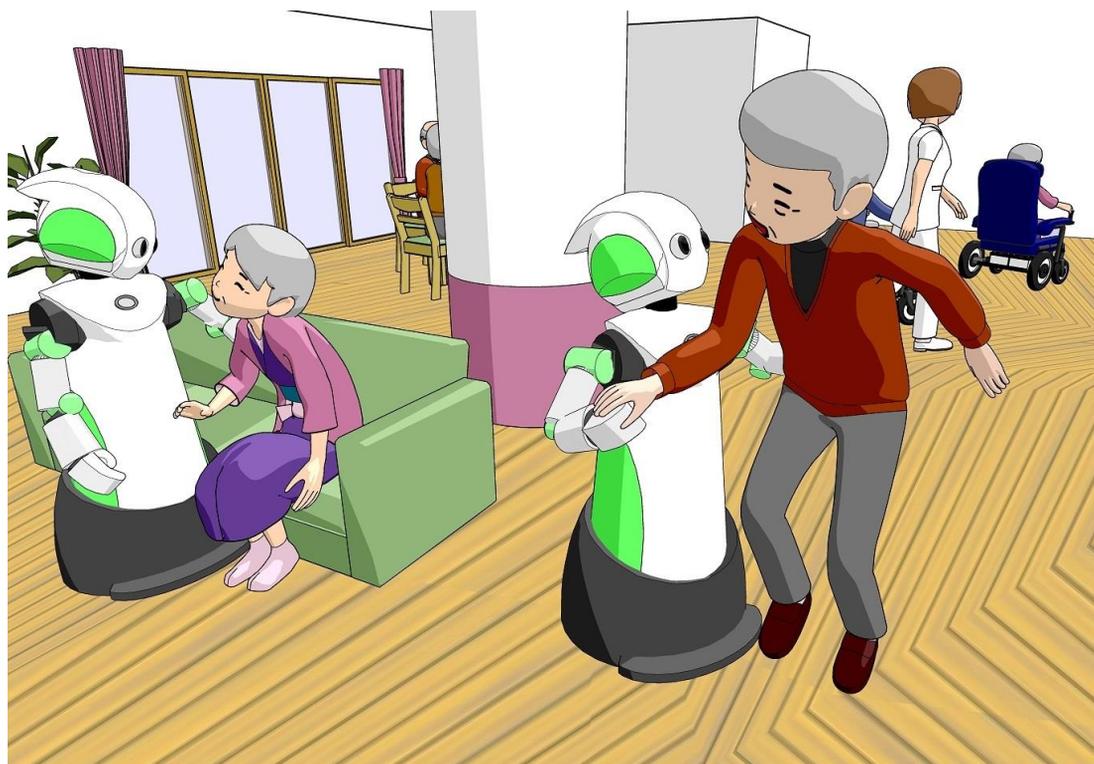
- ロボットによるソーシャルタッチの実現に向けて、人々と安心・安全に触れ合えるロボットや柔らかいタッチセンサの開発、常識的な触れ合い行動の理解と再現を目指しています。
- 誰でも安心して抱きしめあうことが可能なぬいぐるみ型ロボット「Moffuly」を開発し、抱擁インタラクションが人とロボットの関係性をより強固にすることを明らかにしました。
- ロボットからのソーシャルタッチが人にもたらす影響を、心理的・生理的・脳科学的観点から検証し、その有効性を調査する取り組みを進めています。

今後の展開

- 保育・介護施設などでの実証実験を実施することを計画しています。将来的には長期的な導入実証を実施し、ソーシャルタッチが人々にもたらすメリットを明らかにします。

対コロナへの関連

- 他人との触れ合いが物理的に制限される状況下ですが、本来触れ合いは人にとって欠かせないインタラクションです。この課題を解決するため、ロボットを介して遠隔で人同士が触れ合える技術の研究開発に取り組んでいます。



連絡先: インタラクション科学研究所 担当 塩見昌裕 E-Mail: m-shiomi@atr.jp

本研究は、科学技術振興機構CREST(JPMJCR18A1)の研究委託により実施したものです。